

加古北タイムス

平成22年5月6日第1号

兵庫県立加古川北高等学校

<校訓>

克己自律

質実剛健

友愛協調



校長からのご挨拶（原 潤之輔）



私は、平成22年4月に校長として着任いたしました原潤之輔と申します。

本校は、昭和53年4月に創立され、平成18年度に普通科単位制高校に改編された元気いっぱいの学校です。創立以来、校訓「克己自律」「質実剛健」「友愛協調」のもと、生徒は、文武両面から心身を錬磨し、学習や部活動、生徒会活動等に積極的に取り組んでいます。高い志をもった文武両道の生徒を育てる進学型単位制高等学校としてさらなる発展を目指し、努力していきます。ご声援、宜しく願いいたします。

1年次オリエンテーション合宿終わる（単位制5期生としてスタート）

1年次生によるオリエンテーション合宿が、4月21日(水)22日(木)グリーピア三木で行われました。残念ながら雨天により、オリエンティングは実施できませんでしたが、ガイダンス、クラスレクリエーション、集団訓練、大縄跳びなどを実施して、大いに盛り上がりました。加古川北校生としての誇りと自覚を高め、進路目標設定の大切さやクラスの連帯感を養いました。これからの充実した高校生活づくりに役立てていってくれるものと期待しています。



1日目のクラスレクが予想以上に盛り上がり、すごく楽しかった。集団行動は大きな声を出し、みんなで団結できてとても楽しかった。クラスの団結も高まり、友達もたくさんできて、充実した合宿だった。

それぞれの教科の学習方法の話はとても良いと思い、ぜひ取り入れようと思いました。学校行事紹介のDVDをもうちょっとみたいと思いました。DVDの中で特に文化祭が楽しみになりました。

<お知らせ>

加古川北ホームページの案内

<http://www.hyogo-c.ed.jp/kakokita-hs/>

加古川北高では、学校行事や部活動での生徒の活躍を随時、本校ホームページに掲載しております。ぜひ、「文武両道」をモットーに活躍する生徒たちの様子をご覧ください。

オープン・スクールの案内

本校の授業や教育活動を県下の中学生とその保護者、中学校教職員のみなさまに見ていただく機会を設けております。

本年度は、7月31日(土)に実施します。

案内は、後日いたします。



<5月の主な行事>

1日(土)土曜セミナー

8日(土)午前授業、PTA総会

10日(月)代休

12日(水)生徒会選挙、立会演説会

19日(水)5月考査開始(25日まで)

25日(火)キャンパスカウンセラー来校

26日(水)1年次学部学科説明会

29日(土)土曜セミナー

31日(月)全校朝礼、

教育実習開始

(18日まで)



加古北タイムス

平成22年5月19日第2号

兵庫県立加古川北高等学校

<校訓>

克己自律

質実剛健

友愛協調



「県総合体育大会」がスタートしました！！

サッカー部、バドミントン部、陸上競技部、柔道部を皮切りに平成22年度県総合体育大会がスタートしました！各部活動の県大会での活躍をご期待ください。

サッカー部 5月8日(土)に行われた3回戦では強敵三木高校を無失点に抑えPK戦の末、見事に勝利しました！



4回戦は、5月22日(土)に明石城西グラウンドにて篠山鳳鳴と対戦します！

<試合結果>

- ・2回戦 5月 4日(火)加古川北5 - 0 鳴尾
- ・3回戦 5月 8日(土)加古川北0 - 0 三木(PK 4 - 2)
- ・4回戦 5月22日(土)加古川北 vs 篠山鳳鳴

バドミントン部 4月29日から始まった地区大会において、男子ダブルスで福原・山本ペアの優勝に続き、多くの選手が見事に勝ち抜き県大会出場を決めました！

<男子>

- ・シングルス 山本 形木原
- ・ダブルス 石堂 形木原
- ・ダブルス 福原 山本 **地区大会優勝！**

<女子>

- ・ダブルス 河田 宮崎
- ・ダブルス 小谷 秋山



陸上競技部 男子4×100mリレーで**地区大会3位**に続き、多くの選手が県大会出場を決めました！

<男子>

- ・100m 山脇
- ・3000m障害 秀平
- ・円盤投げ 玉暉
- ・やり投げ 坂本

<女子>

- ・円盤投げ 萩原
- ・やり投げ 佐々木



柔道部 地区大会において、激戦の末4名の選手が見事に勝ち抜き、県大会出場を決めました！

<男子>

- ・66kg級 春名
- ・90kg級 宮本

<女子>

- ・52kg級 古佐小
- ・63kg級 安井

6月に入ると他の部活動も地区大会が始まります。また、県大会出場を決めた部活動はインターハイ出場を目指しさらに厳しい練習に取り組んでいます！皆様の熱い声援をよろしくお願いします！

<お知らせ>

オープン・スクールのご案内

本校の授業や教育活動を県下の中学生とその保護者、中学校教職員のみなさまに見ていただく機会を設けております。本年度は、7月31日(土)に実施します。

加古川北ホームページの案内

<http://www.hyogo-c.ed.jp/kakokita-hs/>

加古北タイムス

平成22年6月8日第3号
兵庫県立加古川北高等学校
<校訓>
克己自律
質実剛健
友愛協調



日印交流授業が実施されました！！

アシム先生(男性48才)、
アカシャさん(男性18才)、
ジョータさん(女性20才)
をインドからお招きして、
インドのストリートチルドレンと
日本の生徒たちの交流を
はかる授業が、先日5月28



日(金)に行われました。その様子は翌5月29日(土)の神戸新聞、BAN-BANテレビにも取り上げられました。実際に授業を受けた生徒は、「インドの現状(ストリートチルドレンやカースト制度など)について学ぶ機会になった。」「将来、貧困などで苦しむ人を救えるようになりたい。」「インドの方の英語がほとんど聞きとることができなかった。日頃きれいな英語ばかり聞いているので、アジアングリッシュも聞きとれるように、これからもリスニング力を磨くため頑張ろうと思いました。」とアンケートに書いていました。

教育実習がスタートしました！！

本校の卒業生である4人の先生方が5月31日～6月18日までの3週間、授業や部活動を通じて生徒と触れ合い、生徒と一緒に様々な体験を行います。教育実習生および生徒にとって有意義な時間になることを願います。



名前 出身大学 教科 先輩からみた北高
小田 隆士
びわこ成蹊スポーツ大学
保健体育科
部活動は活気に溢れ、学業も著しく成長していると思います。校舎の壁も赤色から青色に変わり、空との風景がとてもきれいです。北高生にも校舎の色のように澄んだ大きな大人になって欲しいと思います。



坂本 翼
佛教大学
英語科
私が在学していたころと比べると、現在の北高生は、非常にたくましく見えます。それは自らのことについてしっかりと考えることが出来ている生徒が増えていると感じたからです。卒業後、また、将来の自分について考えることのできる生徒だからこそ、単位制の加古川北高校を選択したのかなと思っています。



伊藤 駿
天理大学
保健体育科
現在も変わらず部活動が盛んで、とても良い雰囲気を感じます。学校も単位制学校に変わり、自分の進路を実現できる良い環境だと思います。



船江 岳史
岡山大学
理科
北高は単位制に変わったことで授業のシステムは複雑になりましたが、生徒と先生が接する機会も多くなり、私が在校中のときよりも活気と精気が増していると思います。

オープン・スクールのご案内

本校の授業や教育活動を県下の中学生とその保護者、中学校教職員のみなさまに見ていただく機会を設けております。本年度は、7月31日(土)に実施します。

加古川北ホームページの案内

<http://www.hyogo-c.ed.jp/kakokita-hs/>

加古北タイムス

平成22年6月16日第4号

兵庫県立加古川北高等学校

<校訓>

克己自律

質実剛健

友愛協調



速報

運動部活動集会

～ 伝統の重み～



6月16日(水)昼休みに本校体育館で、運動部活動に所属する生徒を対象として集会が行われました。原校長が「加古川北高校の卒業生は学校を卒業した後も母校の活躍を強く願っている。君たち生徒は卒業生と現在という“点”だけではなく、将来にわたって“線”でつながっている。」「教師は北高を母校にはできない。母校にできるのは君たちだ。」と述べ、自分の学び育った母校を愛する心と運動部のさらなる飛躍を生徒たちに力強く語りかけた。

～ 卒業生の想い～

3年前に加古川北高校を卒業し、現在、教育実習生として母校に帰ってきている3名の先輩から、生徒に向けての激励の言葉がありました。「生徒一人ひとりの頑張りを目の当たりにして、自分の励みになっている。」(英語科)「学校には自分の輝ける場所がある。3年間を精一杯過ごして欲しい。」(保健体育科)「私たちの他にも、インターネットや新聞で加古川北高生の活躍を楽しみにしている卒業生もたくさんいる。卒業生の方々の想いを忘れてはいけません。」(保健体育科)と自分の学生生活と照らし合わせながら生徒に熱く思いを語りかけ、生徒たちも先輩方の話しに真剣な眼差しを向けていました。



部活も勉強も
頑張ります！

夏季休業中全員補習決定！

夏季休業中(7月21日～7月30日)の補習については、1年次生、2年次生が全員参加です。午前中はしっかりと勉強に取り組み、部活動所属者は午後から、短時間で集中して成果が上がるように取り組んでいきます。3年次生については、お盆の1週間を除いて前期・中期・後期の長期間に渡って、受験に向けて実力を養成していきます。

今年から半月早
くなりました！

お知らせ

オープン・スクールのご案内

本校の授業や教育活動を県下の中学生とその保護者、中学校教職員のみなさまに見ていただく機会を設けております。本年度は、**7月31日(土)**に実施します。

加古川北ホームページの案内

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kakokita-hs/>

加古北タイムス

平成22年6月23日第5号
兵庫県立加古川北高等学校
<校訓>
克己自律
質実剛健
友愛協調



第32回

文化祭

Perfect Combustion!!最後まで盛り上げれ!!

6月18日(金)本校において待ちに待った文化祭が行われました!第32回文化祭は「Perfect Combustion!!最後まで盛り上げれ!!」がテーマで、準備から当日まで、クラス一丸となって持てる力の全てを出し切り、大いに盛り上げて完全燃焼しよう!という思いを込めて決めました。生徒一人ひとりが自分の持てる力を最大限に発揮し、とても活気溢れる文化祭となりました。



今年も
やりました!

「いきいき招待」

～特別支援学級の児童を招待～



本校の特色ある取り組みの一つに「いきいき招待」があります。加古川市内の小学校で、特別支援学級に在籍する児童に文化祭を楽しんでもらいます。本年度は、25名の児童を招待し、ステージを鑑賞したり、ゲームを楽しんだり、一緒にごはんを食べたりして楽しく過ごしました。

生徒感想より...

最初は緊張しているみたいだったけど、一緒に楽しんでいるうちに明るい笑顔を見せてくれました。また、私たちが気づかない小さなことやきれいなものによく気づき、それを言葉にして伝えようとしていることに気づきました。たとえ、障害があっても、少し体が動きにくく、少し視点が違うだけなんだなといきいき招待の中で感じました。初めての不安も最後には自信と楽しさという全く逆のものに変わり、来年もしてみたいなと思いました。



加古北タイムス

平成22年6月30日第6号
兵庫県立加古川北高等学校
<校訓>
克己自律
質実剛健
友愛協調



第2弾

文化祭

写真部展示作品



Perfect Combustion!! 最後まで盛り上げられ!!

			
茶道部 朝顔をテーマに夏らしい 雰囲気にしました。	美術部 リラックマの“キヨロト リ”が文化祭限定でメイ ンキャラに!!	華道部 今回の華道部はアリスの世界 観をお花で表現しまし た。	書道部 行雲流水をテーマに思い を込めて書きました。
			
美 今から、ステージ出演。 かわいくてかっこいいダ ンスです。	写真部 部員5名でみんなそれぞ れ撮ってきた写真を展示 しました。	ミニシアター 「デジタルは5くみチャン ネル」バラエティー、ダン ス、戦隊ものなど楽しい番 組いっぱいテレビです。	ステージ 「オズの魔法使い」 オズの魔法使いをアレ ンジしてつくりました。

今年から
始まりました!

校長賞授与

(第1回:平成22年6月18日)

女子バレーボール部の近畿大会出場を始め、県総体で活躍した女子ソフトボール部、陸上競技部の計22名が表彰されました。

校長賞とは、学校生活(学業・生徒会活動・部活動・ボランティア活動)において頑張っている生徒に毎月与えられる賞です。目立たないところで努力する生徒に光を当てることにより、より多くの生徒がいきいきと学校生活を過ごせるようにという想いが込められています。



加古北タイムス

平成22年7月12日第7号

兵庫県立加古川北高等学校

<校訓>

克己自律

質実剛健

友愛協調



加古北初戦突破

加古川北機動力で勝利



加古川北4、明石高専
加古川北打線が中盤に
前半はここで好機
を逃し、四回、五回と
もチャンスがなかった。機
な1点を打ち切った。機
は機動力の機動力、五回
は機動力を絡めて四回と
し、六回には3連続バ
ントで相手を突き放す
を挙げた。一昨年の甲子
園に出場したチームより
「個々の能力は高い」と
福井監督。春の地区大会
甲子園での敗戦で足元を
固め、バントや走
塁を鋭く放った。その成
果を誇りに前を向けた。
た。この日は1安打
で4得点、機動力が鍵
がかった。2年生エース
井上真也(左)、外野打者
を四球で出す。この本塁打
には機動力、機動力が
機動力で甲子園で勝った
いと井上真也、偉大な先
輩たちが果敢をまかした
夢へ、公立の旗が揺る
大先輩たち

明石高専に
競り勝つ！

神戸新聞7月12
日朝刊に掲載

七月十一日(明石球場)初戦の硬さからか、3回まではチャンスは作るものの相手投手の力投に得点することができず、逆に4回裏、明石高専に四球で出たランナーをスクイズで返され、先制される。
しかし、緊張のほぐれた5回表は、2盗塁をからめて大峠の犠牲フライですぐさま同点とし、6回は井上真、岡田、今江の3連続

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
加古北	0	0	0	0	1	2	1	0	0		4	14	0
明高専	0	0	0	1	0	1	0	0	0		2	6	2



バントで相手を揺さぶり2点を挙げた。7回には大峠、井上雄、柴田の3連打で1点を加え、相手を突き放した。
先発した井上真は制球に苦しんだが、要所を締めるピッチングで9回を粘り強く投げ、バックも無失策でこれに応えた。井上真は「県大会で優勝して甲子園で勝ちたい」と話した。

校長 野球部に激を送る

試合前日、原校長は野球部の生徒を前にウガンダの高校生に日本の野球道を伝えた小田島さんの話をし、「君たちも野球人である前にジェントルマンであれ」と技術の前に心を磨くことの大切さについて語りかけた。



人権講演会

英齋塾の塾長である三木英一氏が高校生の生き方について熱く語った。(七月八日)
生徒感想

「普段食事をしたり、学校に行ったりできるのも当たり前のことではなく、いろんな人の支えがあつてこそのことだと気付いた。一度きりの人生を悔いのないように一秒も無駄にせず、毎日を過ごしていくことが大切だと感じた。」



理科特別講義

2年次化学選択者を対象に、甲南大学フロンティアサイエンス学部の赤松准教授から、「ナノテクノロジーと物理・化学・生物」の講義を受けた。七月十二日

トランジスタ

とLSIの違いなどの説明を受けた生徒たちは、「ナノテクノロジーで未来が変わる」ことに驚いたようであった。



お知らせ

オープン・スクールのご案内

7月31日(土)実施

9時半開始

本校の授業や教育活動を県下の中学生とその保護者、中学校教職員のみならずに見ていただく機会を設けております。

本年度も加印地区を中心に約650名の中学生の参加があります。

加古北タイムス

平成22年7月17日第8号

兵庫県立加古北高等学校

<校訓>

克己自律

質実剛健

友愛協調



加古北校破る

井上真3安打完封!

2対0で勝利!

7月16日(金)春日球場にて全国高校野球兵庫大会2回戦、対篠山鳳鳴の試合を行った。



北高のエース井上真(平岡中)は篠山鳳鳴打線を散発3安打に抑え込む好投を見せ、2対0で完封勝利をおさめた。

井上真は9回をテンプもよく打たせて取るピッチングで無四球と制球も抜群だった。

打線は、2回井上雄(鹿島中)、柴田(宝殿中)の連続レフト前ヒット、武田(野々池中)の送りバントで1死2、3塁のチャンスを作り、井上真がセンターへの犠牲フライを放ち鮮やかに先制した。5回にも井上真のセンター前ヒット、井上仁(陵南中)のライト前ヒットなどで、1死1、3塁とし、中島慎(神吉中)の犠牲フライで貴重な追加点を挙げ、相手を突き放した。

先発した井上真は「1回戦よりも気持ちに余裕があり、前の試合で多かった四球に気をつけながら、いつも通りの投球ができた。」

今回の投球を次の試合でもできるように頑張りたい」と話した。

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
鳳鳴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
加古北	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	8	0

IN	7	6	4	3	8	5	1	2	9
加古北	西	島	野	村	井	上	真	田	井
加古北	西	島	野	村	井	上	真	田	井



応援団長の3年次生増田(神吉中 写真右)、熱のこもった応援でチームを盛り立てる。

球技大会で大いに盛り上がる

7月15日(木)、16日(金)に球技大会が行われた。当初から悪天候が心配されていたものの、天候に恵まれ、無事に終えることができた。

競技種目は、男子はフットサル、バスケットボール、ドッジボールの3種目、女子は、バレーボール、バスケットボールの3種目で、クラス対抗で勝利を目指した。



3年生にとっては最後の球技大会であり、今回の球技大会を通じて、クラスの絆がさらに強くなったのではないかと話した。



兵庫「笑いテラ」プログラムに参加

7月11日(日)、17日(土)に神戸高校で兵庫県産メダカ個体群の遺伝子解析実習会があり、3年生の関田(稲美中)が参加した。

実習会では、メダカのDNAの抽出、PCR法によるDNAの増幅、制限酵素によるDNAの切断、電気泳動法による分離DNA多型の判定などの実験が行われた。

参加した関田は「普段使ったことのない実験器具を使い、DNAの解析をすることができ、貴重な経験ができた」と話した。



お知らせ

オープン・スクールのご案内

7月31日(土)実施 9時半開始

本校の授業や教育活動を県下の中学生とその保護者、中学校教職員のみならずに見ていただく機会を設けております。

本年度も加印地区を中心に約650名の中学生の参加があります。

加古北タイムス

平成22年7月21日第9号

兵庫県立加古川北高等学校

<校訓>

克己自律

質実剛健

友愛協調



5回コールド 4回戦進出！

加古北 快進撃

加古川北 13 0 灘

7月19日(土)春日球場にて、全国高校野球兵庫大会3回戦、対灘高校との試合を行った。

北高は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、9安打13得点の猛攻で5回コールド勝ちをおさめた。

2点リードの3回、今榮友一(浜の宮中)、中島慎太郎(神吉中)の連続三塁打を起点に打者9人で5得点。4回には、中島の三塁打から始まり、大峠純樹(稲美北中)、井上雄太(鹿島中)、上田健太郎(宝殿中)のヒットに四球を絡め一挙6点を奪って相手を圧倒した。

投げては上田、梅崎勇太(中部中)のリレーで灘高打線を2安打に封じた。

ナイスリリーの梅崎勇太 三塁打を放った中島慎太郎

上田健太郎投手
「3回戦での初登板で試合前は緊張したが、得意の直球がコーナーに決まり、バツグンがしっかり守ってくれた。次も今日のような投球ができるよう頑張りたい」



PTAが関西大学を見学

7月10日(土)に保護者、職員39名で関西大学を訪れた。入試広報部からの入試制度についての説明後、3班に分かれて関大生の案内による様々な施設見学を行った。

暴走族追放キャンペーンに参加

高校生が同世代に暴走族への加入阻止を訴える「暴走族追放・少年マナーアップ」キャンペーンが、20日(火)JR加古川駅前と山電高砂駅前であり、生徒会5名が参加した。

生徒会長の井上修都(氷丘中)は、「暴走族を追放し社会に貢献する」と話した。その様子が、翌21日(水)の神戸新聞に掲載された。

ニュース

お知らせ

オープン・スクールのご案内

7月31日(土)実施 9時半開始

本校の授業や教育活動を県下の中学生とその保護者、中学校教職員のみなさまに見ていただく機会を設けております。

本年度も加印地区を中心に約650名の中学生の参加があります。

加古北タイムス

平成22年8月1日第10号

兵庫県立加古川北高等学校

<校訓>

克己自律

質実剛健

友愛協調



北高野球部 熱い夏終わる

神戸国際大付に0-1で惜敗



7月25日(日)明石球場にて全国高校野球兵庫大会5回戦、対神戸国際大付の試合を行った

試合は先発の井上真伊人(平岡中)が7回までランナーは出ずものの、要所を締めるピッチングで無失点に抑えたが、8回に四球とヒットで1死満塁とされ、レフトへの犠牲フライを打たれ貴重な1点を奪われた。北高も9回裏に2死1・3塁と相手投手を攻めたて、一打同点の場面を作ったが、あと一本がでなかつた。北高は最後の一球まで諦めず、見ごたえのある試合内容ができた



福村順一監督

「このチームがスタートしてから、いろいろなことがあり、それらをチームみんなで乗り越えてきた。何とか勝たせてやりたかつたんでけどね。つらい時期もあつたが『逆境を力に変えよう』という言葉を含言葉に厳しい練習にも耐えてくれた」北高野球部で学んだことをこれからの人生で大いにいかして欲しい。

今回の神戸国際大付戦でも優勝候補に一步も引かない戦いぶりを見せた。「このチームの監督でよかった。」と涙に暮れる選手たちを、指揮官は穏やかに見つめた。



加古北ベスト16

松陽に逆転勝利

加古川北8 1松陽
(8回コールドゲーム)

7月23日(金)姫路球場にて全国高校野球兵庫大会4回戦、対松陽の試合を行った。

北高は3回に1点を先制されるが、5回に1番中島慎太郎(神吉中)の2点適時打と2番小西のスライズで鮮やかに逆転した。7回には柴田誠士(宝殿中)の中越2点二塁打、8回には敵失と中島の犠牲フライで3点を加え、コールド勝ちを決めた。

エース井上真伊人(平岡中)は松陽打線に8安打を打たれるが、要所を締める粘り強いピッチングで1失点に抑えた。中島慎太郎主将

「先制されてもチームに焦りはなかった。守備からリズムをつくる野球をやれば逆転できると信じていた。次の試合もいつも通りの守り勝つ野球をやるだけ」

加古北全員野球

北高野球部には今夏ベンチ入りか叶わなかつた3年生も、練習でのノッカーを務めたり、投手、打撃、走塁のコーチ役を務めたりしている。「しっかりとサポートすることで、メンバーと一緒に戦っている」と長い時間ともに汗を流した仲間間に陰から力を送っている。

オープン・スクールありがとうございました

今回のオープンスクールは兵庫県下全域の中学生・保護者・中学校教職員を対象に、800名を超える来校者がありました。次回オープンハイスクールは11月8・9日に行います。

お知らせ

